

期日：平成24年4月7日(土)～8日(日)

会場：周南市熊毛体育センター

主催：山口県ハンドボール協会

JOHT 県予選	岩国クラブ	(株)トクヤマ	徳山クラブ	周南クラブ	勝点	得点	失点	得失	順位
岩国クラブ	試合番号,開始時間 オフィシャル [凡例]	④ [13:45] 徳山クラブ	1 [11:00] (株)トクヤマ	3 [14:45] 徳山クラブ					
(株)トクヤマ			4 [16:00] 周南クラブ	2 [12:15] 岩国クラブ					
徳山クラブ				② [11:15] (株)トクヤマ					
周南クラブ									

クラブ選手権 県予選	HC40's	下松クラブ	下関クラブ	勝点	得点	失点	得失	順位
HC40's	試合番号,開始時間 オフィシャル [凡例]	① [10:00] 下関クラブ	⑤ [15:00] 下松クラブ					
下松クラブ			③ [12:30] HC40's					
下関クラブ								

【重要】
年度当初の大会のため、登録証の提示はありません。

会場準備
・岩国クラブ
・徳山クラブ
9:00～

競技日程		試合時間:25分-10分-25分(延長なし) 【順位決定方法は別掲】				順位決定方法		
日	順	開始時間	対戦	オフィシャル	審判			
4 /	1	11:00	岩国クラブ × 徳山クラブ	(株)トクヤマ	.	① 勝点(勝2点,分1点)		
	2	12:15	(株)トクヤマ × 周南クラブ	岩国クラブ	.	② 得失点差		
	3	14:45	岩国クラブ × 周南クラブ	徳山クラブ	.	③ 総得点		
	4	16:00	(株)トクヤマ × 徳山クラブ	周南クラブ	.	④ 対戦間の勝敗		
7 (土)	3	14:45	岩国クラブ × 周南クラブ	徳山クラブ	.	⑤ 抽選		
	4	16:00	(株)トクヤマ × 徳山クラブ	周南クラブ	.			
	4 /	①	10:00	HC40's × 下松クラブ	下関クラブ	.	・お問い合わせ先 社会人連盟 事務局下松まで お願いします。 ・後片付けに 御協力ください。	
		②	11:15	徳山クラブ × 周南クラブ	(株)トクヤマ	.		
	8 (日)	③	12:30	下松クラブ × 下関クラブ	HC40's	.		
④		13:45	岩国クラブ × (株)トクヤマ	徳山クラブ	.			
⑤		15:00	HC40's × 下関クラブ	下松クラブ	.			

【特記事項】 ※ルール変更があります。2ページ目以降をご覧ください。

- 1 松ヤニ・松ヤニスプレーは使用禁止。両面テープのみ使用を認める。違反者は失格とする。
- 2 オフィシャルは競技日程表のチームで責任を持って行うこと。
- 3 テープ殻・弁当殻・空き缶・ペットボトル等はすべて持ち帰ること。
- 4 シューズの2足制を厳守すること。違反者は失格とすることがある。
- 5 男子JOHT予選上位2チームと徳山クラブ(女子)は、5月18日(金)～20日(日)広島県呉市で開催される中国地区予選会に出場する権利を得ると同時に、その義務を負う。なお、男子JOHT本大会中国ブロック枠は「3」チームである。本大会は、8月10日(金)～13日(月)東京都墨田区総合体育館ほかで開催。男子クラブ選手権予選上位2チームは、7月21日(土)～22日(日)山口県周南市で開催される全国クラブ選手権西地区大会に開催地代表として出場する権利を得ると同時に、その義務を負う。

平成24年2月18日

各都道府県協会理事長 殿
各ブロック協会理事長 殿
各連盟理事長 殿
関係各位 殿

(財)日本ハンドボール協会
競技本部長 江成 元伸

競技規則の確認、及び、その他の確認(平成24年4月1日実施)

国際ハンドボール連盟から、「IHF 2011 競技規則の解釈」の通達を送付されました。日本協会は、IHFが定めた事項以外に、各国ハンドボール協会が追加することができることとされた事項、及び、日本協会独自の国内規則を定め、通知します。

また、それ以外の事項についても通知しますので、各組織に対して周知徹底をよろしくお願いします。

この確認の内容は、平成24年4月1日から実施します。

記

1 IHF 2011 競技規則の解釈

別添資料の通知通り、実施する。

2 ハーフタイム(競技規則2:1)

国内では、原則として従来通り10分とする。テレビ放映、その他の理由により大会規定として、最長15分までのハーフタイムを取ることができる。

3 チームタイムアウト(競技規則2:10)

IHFの通達通り、3回請求できることとする。チームタイムアウト請求カードは、競技規則通りのサイズとする。

4 選手出場人数(競技規則4:1)

16名までを認める。日本協会では従来、連盟、大会ごとに選手出場人数は規定してよいとしていたことから、15名以下でもよい。なお、平成24年度全日本総合選手権は16名の参加申込み、ゲームエントリーも16名編成とする。ジャパンオープンは国体リハーサル大会なので、リハーサル大会は本国体の参加人数を上回らない規模で実施するとい

う日本体育協会が定める規程を遵守するため、大会参加申込みは16名、ゲームエントリーは14名で実施する。

5 平成23年4月1日付競技本部長通達「平成23年度競技運営に関する通達について」の再確認

下記事項は通知済みであることから、各団体はその趣旨を遵守するよう、特に確認する。

1) 大会裁定委員会について

平成22年度大会開催マニュアルで、大会裁定委員会は「大会期間中の出場停止を超える処分が必要な場合は、大会主催団体の定められた会議において審議し、処分を審議する。さらに、加盟団体の処分の範囲を超える場合は、本協会の懲罰委員会に提訴する。」と規定している。

裁定委員会として、処分の範囲を超える裁定をしないよう留意されたい。

2) 試合中のチーム役員、選手の発言、態度、行為について

試合中、チーム役員、選手による技術的・戦術的指示等は認められるが、技術的・戦術的な指示であっても度を越した発言、態度、行動は許されない。目に余るスポーツマンシップに反する行為に審判員が直接気がつけば、審判員が罰則を適用する。審判員が気がつかないときは、マッチバイザー、TDから審判員に知らせ、審判員が罰則を適用する。

審判員、TDは毅然とした態度で公平に判定するよう、再度確認する。

6 パワー(サイクリング)パンツ、アンダーシャツの着用について

平成24年度は、パワーパンツを着用する場合は、競技規則通り短パンツと同色であるか、短パンツと色の異なるパワーパンツを着用する場合は、チーム全員が同じ色のパワーパンツを着用しなければならない、と改正する。

アンダーシャツの着用も同様で、ユニホームの色と同色のアンダーシャツを着用しなければならない。色の異なるアンダーシャツを着用する場合は、チーム全員が同じ色のアンダーシャツを着用しなければならない。

7 マッチバイザーの任務、平成24年4月1日改訂版の発行

マッチバイザーの任務、平成24年4月1日改訂版を発行した。

8 7mスローコンテスト登録・記録用紙

別添資料の通り、7mスローコンテスト登録・記録用紙を作成した。

9 選手変更について

国体は従来通り国体要項に従い、監督・代表者会議の前日までに証明書添付で変更手続きを行う。その他の大会は、代表者会議開始前までに選手変更届を提出する。理由は明記するが、その内容は問わないので証明書の提出は必要ない。

チームタイムアウトの取り扱いについて 2012

- ルール1 チームタイムアウトは1試合で3回請求できます。(ただし、正規の時間内においてであり、延長戦では請求できません)
 ルール2 チームタイムアウトは前半、後半にそれぞれ最高で2回までしか請求できません。
 例1: 前半2回請求の場合、後半は1回のみ
 例2: 前半1回請求の場合、後半は2回まで
 例3: 前半請求なし、後半は2回まで
 ルール3 後半、試合終了前の5分間は1回しか請求できません。
 ルール4 連続してタイムアウトを請求する場合には、間に相手チームのボール所持が必要です。
 カードは原則としてベンチに置き、申請するときだけに持つことができます。

【取り扱い例】

